

わたしの議会。



9月26日 普通救命講習受講

とば市議会だより 目次

平成28年度決算の概要 ……	2	TOBAミライトーク ……	9
常任委員会報告 ……	3～4	鳥羽市 海女のまち条例 ……	10～11
議員別表決結果 ……	5	きらり輝く人達、他 ……	12
一般質問 ……	6～8		

平成28年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定ほか、鳥羽市個人情報保護条例の一部改正についてなど、議案9件と発議7件、請願4件を審議しました。

平成28年度 決算の概要

平成28年度の決算は、一般会計では実質収支が2億6657万6000円の黒字となり、前年度の実質収支を差し引いた単年度収支では3635万9000円の赤字となりました。

また、特別会計では実質収支において国民健康保険事業で1346万9000円、介護保険事業で1910万2000円の黒字となっており、5事業の合計で3787万7000円の黒字となりました。

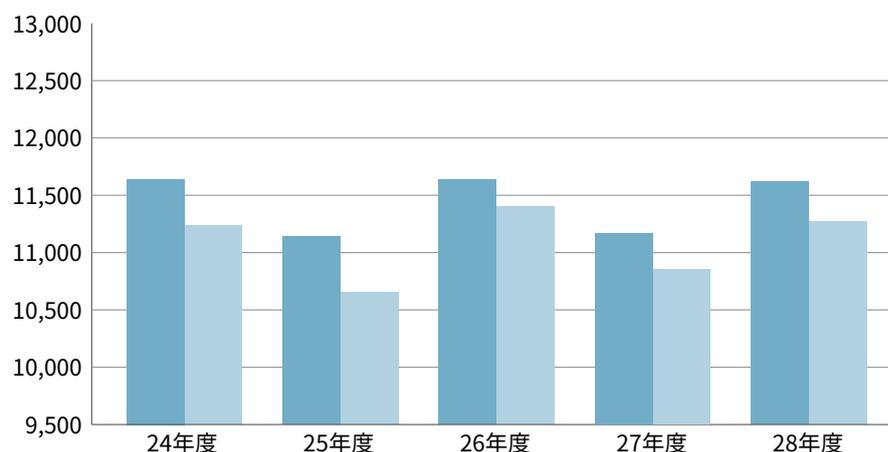
平成28年度における一般会計、特別会計の決算状況は下表のとおりです。

平成28年度 会計別決算状況

(単位：千円)

区分 会計	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引額 (形式収支)	翌年度へ 繰り越す べき財源	実質収支	平成27年度 実質収支	平成28年度 単年度収支	
	A	B	C (A-B)	D	E (C-D)	F	G (E-F)	
一般会計	11,615,198	11,348,369	266,829	253	266,576	302,935	△ 36,359	
特別会計	国民健康 保険事業	3,424,593	3,411,124	13,469	0	13,469	12,155	1,314
	介護保険 事業	2,642,226	2,623,124	19,102	0	19,102	40,839	△ 21,737
	定期航路 事業	546,692	546,691	1	0	1	1	0
	特定環境 保全公共 下水道事業	138,465	138,464	1	0	1	1	0
	後期高齢者 医療	493,949	488,645	5,304	0	5,304	4,032	1,272
	小計	7,245,925	7,208,048	37,877	0	37,877	57,028	△ 19,151
合計 (一般+特別)	18,861,123	18,556,417	304,706	253	304,453	359,963	△ 55,510	

一般会計決算規模の推移



(単位：百万円)

	歳入	歳出
24年度	11,641	11,237
25年度	11,141	10,656
26年度	11,638	11,400
27年度	11,167	10,853
28年度	11,615	11,348

常任委員会報告

● 各常任委員会に7議案と4請願が付託されました。

総務民生委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

(議案第15号 鳥羽市個人情報保護条例の一部改正について)
議案第16号 工事請負契約の締結について)

両議案とも執行部から提案説明を受け、提案理由の通り了した。

文教産業委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

(議案第17号 指定管理者の指定について(海の博物館))

問 指定管理者の選定委員会を開いたということだが、どのような議論や意見があったのか。

答 候補者から事業計画について説明があった。選定委員の質問に対し、候補者から、人員体制については学芸員の育成が必要と考えており、新たな取り組みを創出するために新規の補強もしていきたいということや、業務内容については学生団体の誘致に取り組む、市や観光団体と連携した情報発信もしていきたい、体験学習などの充実を図って入館者増をめざしていきたい等の説明があった。



10月3日から鳥羽市立海の博物館としてスタート

問 市民とつながりのある活動が必要と考えるが、議論はなかったのか。

答 市民の方に知ってもらい、来ていただきたいということや様々なイベントを実施したいと考えている。教育委員会も連携して市民向けの無料期間を設けて、まず施設を知っていただく取り組みを始めたいと考えている。

予算決算委員会

今回の決算審査は、初めての試みとして審査日ごとに議員間討議を行い、意見を出し合いました。審査の主な内容は、次のとおりです。

(認定第1号 平成28年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について)
(歳出・第2款総務費)

企画財政課所管の全国離島振興協議会職員派遣事業やふるさと納税推進事業、移住定住促進事業のほか、総務課所管の職員健康管理業務などについて質疑があった。

【議員間討議の意見】

● 全国離島振興協議会への職員派遣については、鳥羽市を国等の機関へアピールする良い取り組みと評価して、復活・継続を検討されたい。

〔歳出・第3款民生費〕

外出支援事業のいきいきお出かけ券事業、臨時福祉給付金事業、虐待防止ネットワーク事業や子育て支援に関する事業などについて質疑があった。

【議員問討議の意見】

- 高齢者の自動車運転免許返納者への配慮施策を考慮された。

〔歳出・第5款農林水産業費〕

農業振興鳥獣害対策事業や漁業就労応援事業、種苗放流事業、国土調査事業について質疑があった。

【議員問討議の意見】

- 鳥獣による農業被害が大きくなっている現状に対し、従来の捕獲・駆除だけでなく、農地と里山を区分する緩衝帯を設置するなどの環境整備や対応する職員体制について、また集落の維持が困難になっている現状があることから、集落を支援する体制についても検討されたい。

〔歳出・第6款観光商工費〕

観光費の中では観光基本計画に基づき取り組んだ各種事業や

観光振興推進事業における取り組みについて、商工費では起業育成支援事業や松尾第2期工業団地に関する質疑があった。

【議員問討議の意見】

- 松尾第2期工業団地については、完成から約20年が経過した現状を鑑み、用途変更を含めた政策的議論を行って、市としての方向性を明らかにされたい。



入居企業を募集している松尾第2期工業団地

〔議案第14号 平成29年度鳥羽市一般会計補正予算(第5号)〕

補正予算の主なものは――

● 地域介護・福祉空間整備等事業	434万円
● 離島漁業再生支援交付金事業	1290万円
● 観光振興推進事業	1750万円
● 運動施設管理運営事業	363万円

〔歳出・第5款農林水産業費〕

問 離島漁業再生支援交付金事業について交付金の採択に至るまで、苦心した点はどのようなところか。

答 交付金申請にあたり、必要な条件を達成するため何度も各地区と協議した。市の努力というより各地区の頑張りや協力の賜物と思っており、これで終わりでなくスタートであり、効果的な事業ができるよう各地区と協力していきたい。

〔歳出・第6款観光商工費〕

問 観光総合情報提供システムの構築・運営とあるが、既存の観光協会のシステムとどこが違うのか。

答 既存の観光協会のホームページの更新業務は、観光協会の職員が更新作業を行っているが、今回のシステムは観光協会の職員だけでなく、それぞれの観光事業者も新たな情報を更新していくことになっている。

人事

教育委員会委員の任命に同意

江崎 ユミ 氏(再任)

公平委員会委員の選任に同意

大川 千恵美 氏(再任)

議案番号	議案名	議決日	審議結果	奥村 敦	片岡直博	河村 孝	山本哲也	木下順一	井村行夫	中世古泉	戸上 健	浜口一利	坂倉広子	世古安秀	橋本真一郎	尾崎 幹	坂倉紀男	
14	平成29年度鳥羽市一般会計補正予算(第5号)	10月2日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
15	鳥羽市個人情報保護条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
16	工事請負契約の締結について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
17	指定管理者の指定について(鳥羽市立海の博物館)		可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
18	平成28年度鳥羽市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
19	教育委員会委員の任命について	9月14日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
20	公平委員会委員の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
認定1	平成28年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について	10月2日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
認定2	平成28年度鳥羽市水道事業会計決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
請願2	義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める請願		採択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
請願3	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願		採択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
請願4	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
請願5	防災対策の充実を求める請願		採択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
発議3	鳥羽市海女のまち条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
発議4	海女さん全力応援宣言の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
発議5	道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
発議6	義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
発議7	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
発議8	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
発議9	防災対策の充実を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
報告4	平成28年度鳥羽市健全化判断比率の報告について		報告につき採決なし															
報告5	平成28年度鳥羽市定期航路事業特別会計資金不足比率の報告について																	
報告6	平成28年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計資金不足比率の報告について																	
報告7	平成28年度鳥羽市水道事業会計資金不足比率の報告について																	
報告8	一般財団法人鳥羽市開発公社及び公益財団法人鳥羽市武道振興会の経営状況の報告について																	
報告9	専決処分した事件の報告について(自動車破損事故に伴う和解及び損害賠償の額を定めることについて)																	
報告10	専決処分した事件の報告について(平成29年度鳥羽市一般会計補正予算(第4号))																	

議長につき表決なし

これが聞きたい・ここが聞きたい

一般質問



9月11日に5人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の概要をお知らせします。

※一般質問、議案質疑の原稿は議員本人の文責です。

日程	議員氏名	項目
9月11日(月)	戸上 健	鳥羽市の子育て支援策について 生活困窮者に寄り添い救済する市政について 都市計画税を依然として徴収し続けている問題について
	河村 孝	ふるさと納税の経緯とこれからについて 今後の鳥羽市における水産事業の展開について
	坂倉広子	食品ロス削減について 子育て支援について
	世古安秀	平成32年度から実施される新学習指導要領に向けての鳥羽市教育委員会の 今後の取り組みについて
	木下順一	救急業務の現状と対策について 女性消防吏員の活用について ドローン(小型無人機)の活用について

子ども医療費の 窓口無料化は

市長

平成30年9月から
実施していきたい

問 子ども医療費の窓口無料化の実施
時期を明言してください。

答 市長 平成30年9月診療分から、未
就学児を対象に実施していきたい。

問 就学援助を受けている子どもたちの
入学準備金の前倒し支給につい
て聞きます。

答 教育長 平成30年度の新入学の児
童生徒の希望者に対して、入学前
の3月末までに支給できるように
準備を進めています。

入学説明会が新中学生で1月、新
小学生で2月としていることからこ
の後に新たに順次申請を受け付け
たいと考えています。

都市計画税の凍結か半減は

市長

推移によっては減税も検討したい

問 都市計画税を当面凍結するか、ま
ず来年は凍結するか、0.2%の税
率を0.1%半減するか、市長の所
見を聞きます。

答 市長 今後は都市計画税が充当で
きる内容を精査し、平成30年度末
までには予定している事業の償還ス
ケジュールを立て、特定財源も勘案
しながら総額に対する充当見込み
をシミュレーションしていきたいと
思っています。平成30年度末までに
(仮称)都市計画基金条例を制定し
て税充当剰余金が出る場合は基金
に積み立てていきたいと思っていま
す。予定している事業に対する税充
当の割合の状況や都市計画基金残
高の推移によっては、税率の変更も
そのときに検討していきたいと思
います。

都市計画税減税をPRする牧之原市
(出典：静岡県牧之原市ホームページ)



戸上 健

ふるさと納税の 体験型メニューの創設は



河村 孝

市長
かねてから私も
思っていました

国や県のメニューの活用は

市長

良い例を参考にしながら活用したい

問 漁業者の後継者不足問題の対策に
国や県のメニューを積極的に活用す
る私の提案について市長の見解を
聞きます。

答 市長 三重県では早田地区の漁協、
志摩市の畔志賀塾等、全国的にも
うまくいっている例が近くにあるの
で、そういったものも参考にしなが
ら活用したいと思います。

※ガバメントクラウドファンディング：政府（自
治体）が行うクラウドファンディング。ガバメ
ントクラウドファンディングでは、すべての寄
附がふるさと納税の対象となる。プロジェクト
オーナーはすべて自治体である。（ふるさとチヨ
イスホームページより）

問 ガバメントクラウドファンディング※
について市長の所見を聞きます。

答 市長 返礼品の豪華さを競い合う
だけではなく、より具体的に使い道
を明確にすることができ、より深い
寄附者の共感を得られる工夫だと
思います。そういった面では大変お
もしろいと思っています。

食品ロスの対策は



坂倉 広子

観光課長

3010運動の
推進を呼びかけたい

問 学校と幼稚園の食品ロス削減の啓
発について聞きます。

答 学校教育課長 子どもたちが食に
関する正しい知識と望ましい食習
慣を身につけることができるよう食
育に積極的に取り組んでいます。

問 鳥羽市は観光地であり、宿泊施設
や飲食店での食事や宴会の機会が
多いことから、食品ロスも多いと想
定されますがどのような対策が考
えられますか。

答 観光課長 全国的な動きとして、
食品ロス削減を目的に3010運
動が始まっています。この運動は、
宴会での乾杯後、30分間は席を立
たずに料理を楽しみ、またお開き
10分前には席に戻り、料理を楽し
もうという食べ残しを減らす運動
を言います。市としても宿泊施設
や飲食店、消費者である観光客に
3010運動の推進を呼びかけてい
きたいと考えています。

問

市長の所見を聞きます。

答 市長 宿泊施設、飲食店で提供さ
れた新鮮でおいしい鳥羽産の食材
が完食され、食を通して鳥羽を満
喫していただけるよう、本市の実情
に即した取り組みを研究し、関係す
る事業者、団体と協力しながら運
動を展開して、食べ残しによる食品
ロス削減に取り組んでいきたいと思
います。



3010 運動普及啓発用 POP

市長の教育に対する思いは



世古安秀

市長

鳥羽肯定感を持てる子どもを育みたい

問 学習指導要領の改正を受け平成32年以降に向けてどのようなスケジュールで進めて行きますか。

答 学校教育課長 特別の教科「道徳」として小学校は平成30年度、中学校は平成31年度から教科化されます。英語教育は、小学校3・4年生に新たに年15単位時間、外国語活動を実施します。小学校5・6年生には、現行の外国語活動の内容に、外国語科の内容を15単位時間加え、年間50単位時間とします。

問 鳥羽市の特色ある教育をどう進めていきますか。

答 教育長 国際的な観光文化都市の具現化を図りたいと思っています。郷土愛を育むために小学校での郷土学習を積極的に進めたいと思っています。そして国際化に向けたコミュニケーション力の育成です。子どもたちが、鳥羽の良さを世界に向けて発信をし、温かく国内外のお

客様を迎えてもらうことができれば素晴らしいと思います。

問 市長の教育に対する思いを聞きます。

答 市長 自分が好き、友達が好き、鳥羽が好きという自己肯定感の育みは、鳥羽肯定感につながると考えています。このことにより鳥羽の宝である子どもたちを育んでいきたいと考えています。



弘道小学校6年生の「外国語活動」でALTの授業と一緒に受けました。

女性消防吏員の採用は



木下順一

消防長

積極的に環境を整えていきたい

問 鳥羽市では、これまでに女性消防吏員が採用されていません。女性消防吏員の活躍に向けた取り組みを聞きます。

答 消防長 女性消防吏員がゼロの消防本部は、早期に解決することも、可能な限り速やかに複数人を確保することとされています。今年度は女性消防吏員の活躍推進のためのガイドブック等を、鳥羽高校や、鳥羽商船高等専門学校等に掲示並びに配布を依頼しました。

問 女性消防吏員を採用するにあたり、課題や問題点はありませんか。

答 消防長 現消防庁舎には、女性専用のトイレや更衣室が完備されておらず、女性事務職員に不便をかけています。現在、計画を進めている新消防庁舎は、女性専用の仮眠室、更衣室、トイレを配置するなど、女性消防吏員の採用を見越した計画としています。女性消防吏員が、

活躍できるような積極的に環境を整えていきたいと考えています。

問 救急救命士枠を設けて職員募集を行い、女性消防吏員を採用しているところもあります。本市はこのような考えはありませんか。

答 消防長 先進地消防本部のこれまでの実績や助言を参考にしながら、人事担当課とも十分に協議検討をしていきたいと考えています。



消防現場で活躍する女性消防吏員

全国初！ 「鳥羽市海女のまち条例」 「海女さん全力応援宣言」を 制定しました。

平成 29 年 3 月 3 日に「鳥羽・志摩の海女漁の技術」が国の重要無形民俗文化財の指定を受けたことや、日本で一番「海女」の多いまちとして、鳥羽の海女を国内外に発信することは、鳥羽の豊かな海が育む海産物、歴史的伝統文化としての継承、海の環境保全や資源維持にも結び付くものと考えます。市民、関係団体、行政が一体となって海女の保全と振興につなげていくため制定しました。

鳥羽市海女のまち条例

(前文)

鳥羽志摩の海女は、古来より素潜りで貝や海藻を採り、それぞれの地域で生活を支えてきました。海女漁の技術は歴史的価値が認められ、国の重要無形民俗文化財に指定されました。また、鳥羽市は海女さんが日本一多いまちです。

市民は、海女さんを誇り、称えるとともに、海女のさらなる振興をめざし、海女さんを全力で応援することを誓い、ここに条例を制定します。

(目的)

第 1 条 この条例は、海女を次世代に引き継いでいくため、市、市民、関係団体等が協力して、海女の振興と保存を図ることを目的とします。

(市の役割)

第 2 条 市は、海女さんを全力で応援するため、海女の振興と保存に必要な措置として、市民ほか関係団体等と協力し、次のことに努めます。

- (1) 海女が将来に渡って持続するための資源保護と漁場環境の整備
- (2) 海女の所得向上のための、漁獲物の増殖と生産物の特産品化
- (3) 海女の普及及び啓発並びに調査・研究等の推進
- (4) 海女の後継者育成への協力

(海女さんの協力)

第 3 条 海女の振興と保存の担い手である海女さんは、健康に留意して海女漁に励み、安全操業に努めるとともに、海の環境保全と素潜り漁の伝統的な技術等の保存と継承に協力し、いつまでも元気で大漁することをめざします。

(市民の協力)

第 4 条 市民は、海女の大切さを理解し、海女さんが日本一多いまちであることに誇りを持ち、子どもたちに伝え、守ることに協力します。また、そのことを多くの人々に知ってもらえるよう情報発信に協力します。

附 則

この条例は、平成 29 年 10 月 2 日から施行する。

海女さん全力応援宣言

鳥羽市は全力で海女を応援します。

鳥羽市市民は海女が日本一多いまちに誇りを持ち、海女文化等の大切さを理解し、全力で海女を応援します。

海女は健康に留意し、安全操業に努めいつまでも元気で大漁をめざします。

以上を宣言します。

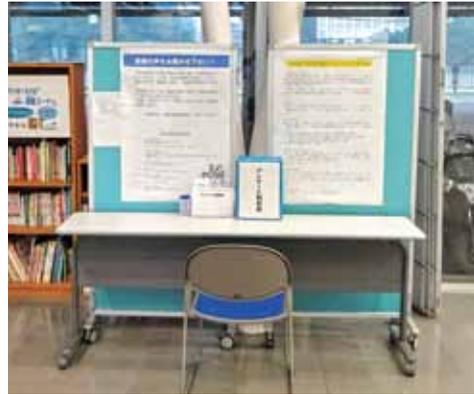
平成 29 年 10 月 2 日 鳥羽市議会

鳥羽市海女のまち条例に関する パブリックコメント及びアンケート集計結果

[アンケート期間] 平成29年9月7日～平成29年9月26日（20日間）

[アンケート場所等] 鳥羽ショッピングプラザハロー 鳥羽マリンターミナル 神島連絡所
答志連絡所 菅島連絡所 長岡連絡所 議員他による直接回収

※パブリックコメントは市議会HP



※最終回収数 [214人]

①あなたの性別は。

1. 男性 [47人] (22%)
2. 女性 [167人] (78%)

②あなたの住んでいる地区は。

1. 鳥羽地区 [30人] (14%)
2. 加茂地区 [7人] (3%)
3. 長岡地区 [81人] (38%)
4. 鏡浦地区 [20人] (9%)
5. 離島地区 [71人] (33%)
6. その他 [4人] (2%)

③あなたが、良いと思う「条例名」を1つお選びください。（回答数の多かった3つを掲載）

1. 海女のまち条例 [50人] (23%)
2. 海女さん全力応援条例 [34人] (16%)
3. 海女は宝だ条例 [31人] (14%)

④上記以外で、あなたが条例名を付けるとしたら1つお書きくださいという質問にはたくさんの思いの条例名を提案していただきこちらも参考にさせていただきました。

ご意見やご感想もたくさんいただきました。質問事項の詳しい結果やご意見・ご感想への考え等は鳥羽市議会ホームページに掲載しております。（<http://www.city.toba.mie.jp/gikai-shomu/amajoureisengen.html>）

皆様からいただきました貴重なご意見を十分参考にしながら、これからの鳥羽市としての政策展開に活かしていきたいと考えています。

ご協力、ありがとうございました。



きらり輝く人達

今、きらりと輝いている鳥羽市出身の人達にスポットをあてる企画、今回はデザイナーの小久保浩太郎さんです。

プロフィール

こくほ こうたろう
小久保 浩太郎 さん

1976年生まれ。2011年 Google (グーグル) に入社、わたしの議会。でも使用している Noto フォント※の開発に携わる。現在は、クラウドファンディングサービスを提供する株式会社 CAMPFIRE (キャンプファイヤー) で執行役員を務める。

※ <http://developers-jp.googleblog.com/2014/07/noto.html>

CAMPFIRE公式サイト：<https://camp-fire.jp/>
CAMPFIREは「クラウドファンディング」という新たな資金調達の方法を提供するサービスです。こんな製品を作りたい、新しいお店を出したい、といった誰かの挑戦をみんなで後押しする場を提供します。

Google、CAMPFIREと誰もが知る会社で活躍されていますが、学生の頃からそのような会社をめざしていたのですか。また、そのために取り組んだことはありますか。

昔はネットもなく今のようない業自体がなかったもので、若い頃から目指したということはありません(笑)。子供の頃から機械を分解したり自分で何か作ったりするのは好きでしたが、学校の勉強もあまり熱心でなく、その時々で楽しいと思える事をしつづけていました。

東京に移住して長いと思いますが、小久保さんから見た鳥羽はどのような場所ですか。

そうですね、実は中学から市外の学校に通っていたこともあって、よく考えると鳥羽のことを実家の近所以外あまり知らないんです。生まれ育った町だし愛着もあるんですが、風景を思い出そうとすると細部がおぼろげになってしまう感じはあります。

最後に、鳥羽市民へメッセージをお願いします。

今、日本は少子化に伴う人口減少や経済的な先行き不透明感など様々な不安要素を抱えています。鳥羽も例外ではないかもしれませんが、しかし新たな挑戦が次世代を切り開くのはいつでも変わります。鳥羽からもたくさんの「挑戦する人」が現れることを願っています。

編集後記

わたしの議会。(とば市議会だより) 第161号をお届けします。

9月の予算決算常任委員会ではこれまで決算審査の最終日に総括を行っていましたが、今年度は毎日振り返りを行い議論しました。出された意見の一部を常任委員会報告(3~4ページ)に掲載しています。全ての意見や委員会の様子をご覧になりたい場合はYouTube(ユーチューブ)で録画配信していますのでパソコン、スマートフォンやタブレット端末※から「鳥羽市議会 YouTube」で検索してみてください。※パケット通信料がかかります。

記 井村行夫



審査後、振り返りを行いました

広報広聴委員会
委員長 山本哲也
副委員長 井村行夫
委員 奥村 敦
委員 河村 孝
委員 木下順一
委員 浜口一利
委員 世古安秀